
トラブルの解決

1

- はじめに 1-2
- システム エラー コードに関するトラブルの解決 1-2
- 不良アッセンブリに対するサービス テストの実施 1-3
- 必要なサービス校正の実施 1-3
- イメージ品質に関するトラブルの解決 1-3
- 電源を入れるとフロントパネルのLEDが一瞬点灯するだけで何も起こらない 1-4
- プリンタの電源が入らない 1-5
- フロントパネルのLEDがすべて点灯するが何も起こらない 1-5
- フロントパネルでいずれかの出力品質LEDが点灯し (他にはなし)、
「セルフテスト...」 のメッセージが表示される 1-5
- プリントヘッドが連続して認識されない 1-6
- カバー センサが動作していない 1-6
- ライン センサが用紙を正しく検出できない 1-6
- 用紙詰まり/プリントヘッド クラッシュに関するトラブルの解決 1-7
- シャットダウンに関するトラブルの解決 1-7
- バキューム ファンに関するトラブル 1-9
- 高所での吸引力低下について 1-9
- HP光沢紙の印刷面にスタッカの跡が付く 1-10
- コート紙を使用した高濃度印刷におけるプリントヘッドのクラッシュ/汚れ 1-10
- HP光沢紙に印刷したものを重ねると色相が変わる 1-11
- HPデザインジェット プリンタの種類によるHP-GL/2カラーの違い 1-11
- NTP、ベラム紙、HP光沢紙の印刷面にこすった跡が付く 1-12
- 極端な動作環境下で発生する帯状のムラ 1-13
- 印刷中のインク カートリッジ交換による帯状のムラ 1-13
- HP光沢紙における時間の経過に伴うインクのにじみと色相の変化 1-13
- HP光沢フォト用紙への印刷直後の光沢の低下 1-14
- 34インチライス ペーパーについて (非対応) 1-14
- カット紙のライス ペーパーの取り付け不良 1-14
- HPコート紙上の薄い塗りつぶしにミミズのような跡が付く 1-14
- 用紙の取り扱いに関するトラブルの解決 1-15
- フロントパネル メニューの操作方法 1-16
- サービス構成プリント 1-20

プリンタのトラブル解決のためのガイド

はじめに

この章では、プリンタのトラブルを解決するための適切な手順について紹介します。

システム エラー コードに関するトラブルの解決

第2章 - システム エラー コードには、システム エラー コードのリストと、それぞれについての説明および推奨の対処方法が記述されています。推奨される操作を一度に1つ実行して、そのエラー コードが表示されなくなるかどうか点検してください。

この『サービス マニュアル』に記載されていないエラー コードがある場合や、自分で解決できないエラーがある場合は、そのエラーをHPレスポンス センタまたは最寄りのHPサポート窓口に報告してください。エラーを報告するときは、次の情報を準備してください。

- プリンタのモデル番号とシリアル番号。
- プリンタが使用しているファームウェアのバージョン (以下の注記を参照)。「ユーティリティ / ジョウハウ / ROMバージョン」でファームウェアのバージョンを確認してください。
- 完全なエラー番号 (以下の注記を参照)。
- サービス構成プリント ⇒ 1-20 ページ
- 現在の設定シート。
- カスタマが使用しているソフトウェア アプリケーション (名前、バージョンなど)。

注記

システム エラー コードを報告する場合は、必ず完全なエラー コード (該当する場合は、最後の8つの数字も含めて) とファームウェアのバージョンを提示するようにしてください。この情報がないと、HPの担当者がサポートを提供できません。

不良アッセンブリに対するサービス テストの実施

可能な場合は、交換する部品/アッセンブリに必ずサービス テストを実施し、その部品/アッセンブリが不良であることを確認します。

注記

部品/アッセンブリがテストに合格した場合は、交換を中止します。

サービス テストとその使用方法については、第 4 章 - サービス テストおよびユーティリティを参照してください。

必要なサービス校正の実施

部品の交換後、プリンタを正しく校正しましたか？ 校正がいつ必要かについては、5-2 ページの表を参照してください。

注記

あるアッセンブリを、別のアッセンブリや部品を調べるために分解した場合でも、校正が必要となる場合がありますので注意してください。

サービス校正とその使用方法については、第 5 章 - サービス校正を参照してください。

イメージ品質に関するトラブルの解決

イメージ品質に関するトラブルが発生した場合は、イメージ品質プリントを印刷すると、トラブルを診断するのに役立ちます。イメージ品質プリントは、プリントヘッドのエラーを検出します。また、フロントパネルの誤った選択、ドライバやRIPの設定、機械的なトラブルも検出できます。イメージ品質トラブルの解決については、第 6 章 - 出力品質を参照してください。

電源を入れるとフロントパネルのLEDが一瞬点灯するだけで何も起こらない

電源装置によってショートが検出されたため、電源が切られています。

- 1 ハードディスク ドライブまたはネットワーク カードの不良と考えられます。以下の手順でトラブルを解決してください。
 - a プリンタにハードディスク ドライブまたはネットワーク カード (またはその両方) が取り付けられている場合は、プリンタ背面の電源スイッチを切り、これらを取り外します。
 - b 再びプリンタの電源スイッチを入れます。
 - c この状態でプリンタが正しく動作する場合は、再びプリンタの電源スイッチを切り、ネットワーク カードを正しく取り付け直します。2本の取り付けネジが完全に締まっていることを確認してください。

注記

ハードディスク ドライブとネットワーク カードを取り外してもプリンタが正しく動作しない場合は、エレクトロニクス モジュールを交換する必要があります。

- d 再びプリンタの電源スイッチを入れます。
- e ネットワーク カードを取り付けた状態でプリンタが正しく動作する場合は、再びプリンタの電源スイッチを切ります。

注記

ネットワーク カードを取り付けた状態でプリンタが正しく動作しない場合は、ネットワーク カードを交換する必要があります。

- f ハードディスク ドライブを正しく取り付け直します。2本の取り付けネジが完全に締まっていることを確認してください。
- g 再びプリンタの電源スイッチを入れます。
- h ハードディスクを取り付けた状態でプリンタが正しく動作するかを点検します。

注記

ハードディスク ドライブを取り付けた状態でプリンタが正しく動作しない場合は、ハードディスク ドライブを交換する必要があります。

- 2 エレクトロニクス モジュールに接続されているすべてのケーブルを点検し、カバーとサイドプレートの間にはさまっていないことを確認してください。

プリンタの電源が入らない

- 1 プリンタおよび電源ソケットに電源コードが正しく接続されているかを点検します。
- 2 ファームウェアDIMMが、プリンタ背面の正しいスロット (一番右のスロット) に正しく取り付けられているかを点検します。
- 3 プリンタ背面の電源スイッチがオンの位置にあるかを点検します。
- 4 フロントパネル ケーブルがエレクトロニクス モジュールに正しく接続されているかを点検します。また、フロントパネル ケーブルが損傷していないかを点検します。

フロントパネルのLEDがすべて点灯するが何も起こらない

ファームウェアDIMMが正しく取り付けられていません。

- 1 プリンタ背面の電源を切って、電源コードを取り外します。ファームウェアDIMMを再配置し (一番右のスロット)、正しく取り付けられていることを確認します。

フロントパネルでいずれかの出力品質LEDが点灯し (他にはなし)、「セルフテスト...」のメッセージが表示される

DRAM DIMMのいずれかが正しく取り付けられていないか、または不良です。

- 1 プリンタ背面の電源を切って、電源コードを取り外します。両方のDRAM DIMMを再配置し (一番左の2つのスロット)、正しく取り付けられていることを確認します。DRAM DIMM を再配置してもトラブルが解決しない場合は、DRAM DIMMを交換してください。

プリントヘッドが連続して認識されない

- 1 キャリッジ接点クリーナ (第3章を参照) を使って、プリントヘッドの接点部分およびキャリッジアッセンブリの接点部分をクリーニングしてから、もう一度試してください。
- 2 プrintヘッドがすべて認識されない (フロントパネル上のステータス メッセージが、すべてのプリントヘッドについて「OK」を表示しない) 場合は、Electronics System Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5 ページ

カバー センサが動作していない

- 1 動作不良のセンサが正しくインストールされているかを点検します。
- 2 動作不良のセンサのケーブルが正しく接続されているかを点検します。
- 3 動作不良のセンサを交換します。

ライン センサが用紙を正しく検出できない

- 1 使用されている用紙の種類を調べてください。透明な用紙や特定の種類の非HP製用紙が使用されていると、ライン センサによって正しく検出されない場合があります。プリンタにHP普通紙を取り付け、検出されるかどうかを調べます。
- 2 プラテンの表面に多量のインクが溜まっていると、光の反射によってセンサが誤動作する場合があります。プラテンをクリーニングしてください。
- 3 ライン センサが正しく校正されていません。Line Sensor calibration (ライン センサの校正) を実施してください。⇒ 5-9 ページ
- 4 ライン センサが損傷しているか、または故障しています。キャリッジアッセンブリを交換します。⇒ 8-46 ページ

用紙詰まり/プリントヘッド クラッシュに関する トラブルの解決

注記

HP コート紙の使用時に問題が発生している場合は、1-10 ページ「コート紙を使用した高濃度印刷におけるプリントヘッドのクラッシュ/汚れ」も参照してください。

用紙詰まりが発生する多くの場合は、用紙がキャリッジの移動する部分で持ち上がり、ヘッド クラッシュを引き起こします。用紙詰まりによる動作不良の多くは、ヘッド クラッシュとして報告されるため、「用紙詰まり」と「ヘッド クラッシュ」は同様の問題にまとめられます。

- 1 用紙を取り付けるときに用紙詰まりが発生している
 - 用紙詰まりを起こしている場合、用紙経路に用紙の切れ端が詰まっていることがよくあります。用紙経路から切れ端を取り除いてください。

注記

用紙詰まりを除去するとき、用紙経路に紙が詰まっていることがあります。これを取り除くには、用紙セット ハンドルを持ち上げ、用紙経路に厚めの用紙を差し込んで、詰まっている紙を押し出します。

- 2 非HP製の用紙を使用している
 - 非HP製の用紙を使用すると、用紙詰まりやヘッド クラッシュの原因になります (特にヘッド クラッシュが発生しやすくなります。HP製の用紙は、ヘッド クラッシュの主な原因の1つであるシワの発生を抑えるため、特殊な製法で作られています)。用紙がHP公認のものでない場合は、カスタマにHP用紙の使用を勧め、これによって問題が解決するかどうかを調べます。
- 3 センタ プラテンとの位置関係において、キャリッジの高さが間違っています。キャリッジを正しい高さに調整し ⇒ 5-24 ページ、用紙の取り付けをもう一度試してください。
- 4 バキューム ファンが正しく動作するか点検します - 1-9 ページ「バキューム ファンに関するトラブル」を参照。

シャットダウンに関するトラブルの解決

シャットダウンが発生すると、「デンゲンヨキッテ...」に続いて次のようなメッセージが表示されます。

- プリントヘッドクリーナノ ケイロヲチェックシテクダサイ
- ヨウシノ ケイロヲ チェックシテクダサイ
- プリントヘッドノ ケイロヲ チェックシテクダサイ ((1)、

(2)、または(3))

シャットダウンの発生した経路によって、以下のように、トラブルを解決するための手順が異なります。

警告

いずれの場合も、トラブル解決の手順を実行する前に、プリンタの電源を切ってください。

プリントヘッド クリーナの経路

- 1 プリンタの右の扉を開けて、サービス ステーションの動きを妨げるものがないかを点検します。サービス ステーションを手で動かし、滑らかに自由に動くかを点検します。

用紙の経路

- 1 ウィンドウを開けて、ドライブ ローラーの動きを妨げるものがないかを点検します。用紙経路の内部で用紙がシワになって詰まっている場合は、ピンチ ホイールを持ち上げて(用紙セット ハンドルを使用) 障害物を取り除きます。用紙に手が届かない場合は、プリンタ後部のエレクトロニクス モジュール(⇒ 8-26 ページ)とローラー ガイド(⇒ 8-68 ページ)を取り外すと、手が届きやすくなります。
- 2 シャットダウンがロール紙の巻き終わりの部分で発生した場合は、用紙がロールにしっかりとくっついてはなれないことが原因になっている可能性があります。ピンチ ホイールを持ち上げ(用紙セット ハンドルを使用)、用紙を引っ張り出してください。
- 3 用紙スピンドルが壊れていれば、交換します。
- 4 用紙軸モーターを交換します ⇒ 8-12 ページ

プリントヘッドの経路

シャットダウンがプリントヘッドの経路で発生した場合は、「デンゲンヨキッテプリントヘッドノ ケイロヲ テンケンシテクダサイ(*)」というメッセージが表示されます。(*)の部分には、故障が発生している場所を示す番号が入ります。

PWMシャットダウン (1) および 電力シャットダウン (3)

- 1 スライダ ロッドをクリーニングし、スライダ ロッドの軸全体にオイルを塗布します。オイルを塗布した後、スキャン軸テストを実施し ⇒ 4-18 ページ、値が許容範囲内にあるかを点検します。
- 2 スキャン軸モーターを交換します ⇒ 8-34 ページ

速度シャットダウン (2)

- 1 ウィンドウを開けて、キャリッジアッセンブリの動作を妨げるものがないかを点検します。キャリッジアッセンブリを手で動かしみて、滑らかに自由に動くかを点検します。
- 2 エンコーダストリップが汚れていないかを点検します。必要ならば、濡らした布でクリーニングします。

バキューム ファンに関するトラブル

ロール紙またはカット紙のいずれかを取り付けるときにトラブルが発生する場合は、バキューム ファンにトラブルがある可能性があります。バキューム ファンのトラブルであることを確認するには、以下の手順を実行してください。

- 1 プリンタの電源を入れた状態でウィンドウを開け、センタプラテン上の青い線に合わせてHP光沢フォト用紙(Dサイズ)を1枚配置します。バキューム ファンによって用紙が正しい位置に保持され、正しくセットされる場合は、バキューム ファンは正しく機能しています。バキューム ファンが用紙を正しい位置に保持しない(吸引力がない)場合は、以下の方法を試してみてください。
 - センタプラテンの穴がふさがっていないかを点検します。
 - バキューム ファンが正しく取り付けられているかを点検します。
 - バキューム ファンを交換します ⇒ 8-11 ページ
- 2 バキューム ファンが用紙を正しい位置に保持しているのに、正しくセットできない場合は、オーバードライブにトラブルがある可能性があります。この場合は、プラテンアッセンブリを交換してください。⇒ 8-65 ページ

高所での吸引力低下について

3,000メートルを超える高所では、用紙を保持する吸引力が低下するため、用紙を正しい位置に保持することができず、次のような現象が発生します。

- 用紙上にインクの汚れが見られる。
- プリントヘッドが用紙にあたる。
- カット紙の取り付けエラー (可能性高い)。
- ロール紙の取り付けエラー (可能性低い)。

プリンタの制限事項 - 解決法はありません。

HP光沢紙の印刷面にスタッカの跡が付く

HP光沢紙の印刷面を用紙スタッカに排出すると、ひっかき傷が付きやすくなります。

このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- カスタマに、プリンタに付属の用紙スタッカ カバーを使用してトラブルを回避するように勧めます。
- 可能ならば、出力結果を手で支え、用紙がスタッカ内に落ちないようにするという方法を勧めます。

コート紙を使用した高濃度印刷におけるプリントヘッドのクラッシュ / 汚れ

高濃度印刷は、主にHPコート紙においてシワの原因となる場合があります。主として、次の2つのトラブルが発生します。

1. 境界部分のシワ - プリンタがコート紙上に乗せるインクの量が多すぎると、インク領域との境界部分が盛り上がり、プリントヘッドが用紙に接触する原因となります。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。
 - フロントパネルで「**インクヲ セイゲンスル**」の設定がオンかオフかを点検します。オフになっている場合は、オンに切り換えます。
 - フロントパネルまたはドライバのいずれかで、用紙のマージンを15mmに変更します。PostScriptイメージを印刷するカスタマには、マージンを15mmに拡張したPPDファイルを送付してください。
2. 印刷領域内のシワ - プリンタが印刷領域内に乗せるインクの量が多すぎると、用紙が波うち、プリントヘッドによって用紙が汚れる原因となります。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。
 - フロントパネルで「**インクヲ セイゲンスル**」の設定がオンかオフかを点検します。オフになっている場合は、オンに切り換えます。
 - 高濃度印刷には、HP コート紙を使用せず、代わりにHP 厚手コート紙を使用します。

HP光沢紙に印刷したものを重ねると色相が変わる

HP光沢紙に印刷したものを重ねて置いた場合、重なった部分とそうでない部分では、色相が違って見えます。これは、空気に晒されている部分が重なっている部分よりも常に薄い色になるためです。重なっている部分ではインクが蒸発しないため、インクが広がり続け、大きなドットになります。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- 出力結果を重ねる前に完全に乾かすようにします。これには、インクの濃度によって、10分から3時間かかります。
- より乾燥した環境条件にすると、症状が改善します。環境条件を調べるには、サービス構成プリントを印刷します (プリンタ セットアップ メニュー / ユーティリティ / テスト プリント / サービス コウセイ)。

HPデザインジェット プリンタの種類によるHP-GL/2カラーの違い

HPデザインジェット1000シリーズとその他のデザインジェットプラットフォームとの間で、印刷されたイメージに色の違いが見られるのは、1000シリーズのインクの成分が他のプリンタと異なるためです。HPデザインジェットシリーズのプリンタの種類によって色が変わるのは、従来からの現象です。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- 印刷時に、ドライバでカラー校正を実施します。この校正はあまり正確ではありませんが、厳密なケースでは役に立つ場合があります。
- アプリケーションによっては、カラー制御機能があり、ユーザがイメージを修正して好きな色を作成できるようになっています。
- PostScriptで印刷すると、症状が大幅に改善します。
- 光沢紙への印刷後、極端な環境条件にあまり長い時間置かないようにします (湿度が80%の場所に12時間以上置くと、深刻な色の変化が起こります)。

NTP、ベラム紙、HP光沢紙の印刷面にこすった跡が付く

セット ハンドルや用紙ロールに触れてしまうことがあり、まだ印刷されていない部分にインクが付いたり、実際の出力結果が損なわれます。この現象は、主にモノクロ・カラー・トレーシング ペーパー (NTP)、ベラム紙、HP光沢紙で発生します。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- フロントパネルで乾燥時間の設定を長くします (『ユーザーズ ガイド』の**第3章**「用紙の取り扱い」を参照)。
- 新しいロール紙を取り付けます。

極端な動作環境下で発生する帯状のムラ

精度の校正は通常的环境条件で行われているため、極端な環境条件で印刷すると、ドライブ ローラーの送り量が校正実施時の条件と一致しないため、帯状のムラが発生します。このトラブルを解決するには、次の方法を試してみてください。

- 現在の環境条件で精度の校正をやり直します（『ユーザーズ ガイド』の第8章「プリンタの設定」を参照）。

印刷中のインク カートリッジ交換による帯状のムラ

印刷中にユーザがインク カートリッジを取り外したために、プリンタが停止しています。インク カートリッジをすぐに交換しなかった場合、プリンタが印刷を再開したとき、その場所に帯状のムラが発生します。この帯は、濡れたインクが用紙上の乾燥したインクと反応して発生するものです。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- 印刷中はインク カートリッジを取り外さないでください。インク カートリッジの交換や取り外しは、印刷の合間に行うようにします。
- カスタマがフロントパネルの「インクギレ」のステータスによってインク カートリッジを交換している場合は、「スグニ ナクナリマス」のステータスが表示された時点で交換するように勧めます。

HP光沢紙における時間の経過に伴うインクのにじみと色相の変化

高湿度の環境 (約65%以上)では、用紙をコーティングしている親水性の高いポリマが空気中の水分を吸収しやすくなります。このため、染料がコーティングを通して広がり、にじみの原因となります。この現象は、マゼンタを含む色で特に顕著です。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- プリンタを使用する環境の湿度を下げます (65%以下)。湿度レベルを調べるには、サービス構成プリントを印刷します (プリンタ セットアップ メニュー / ユーティリティ / テスト プリント / サービス コウセイ)。

HP光沢フォト用紙への印刷直後の光沢の低下

用紙の乾燥中は、出力結果の光沢が低下しますが、徐々に光沢が高くなり、最終的な光沢レベルに達します (インクの濃度によって10～60分)。以下の方法を試してみてください。

- 高い光沢になるまで最低60分待ちます。

34インチライス ペーパーについて (非対応)

ロール長が34インチ (非標準) になっているため、ピンチホイールが用紙の端を制御できません。このため、塗りつぶしの有無にかかわらず、印刷領域内でインクの汚れやプリントヘッドのクラッシュが発生します。

プリンタの制限事項 - 解決法はありません。

カット紙のライス ペーパーの取り付け不良

薄いライス ペーパーは、センタ プラテンの溝とリニア ブレード リッジに吸入されます。これは、センタ プラテンとライス ペーパーとの間の摩擦が、オーバードライブ ホイールと用紙の場合よりも高くなることを意味します。このため、吸引力が強すぎて、ライス ペーパーを正しく取り付けるのはほとんど不可能です。

プリンタの制限事項 - 解決法はありません。

HPコート紙上の薄い塗りつぶしにミミズのような跡が付く

薄い塗りつぶしの部分に、用紙軸の方向に薄い帯 (S字型) が残り、イメージ品質が著しく損なわれます。

- サービス構成プリントを印刷し (⇒ 1-20 ページ)、湿度が極端に低くないか (30%以下) を点検します。湿度を上げると、症状が改善する場合があります。

注記

トラブルの原因は、プリンタではなく用紙です。このトラブルを解決しようとして、プリンタの部品を交換しないでください。

用紙の取り扱いに関するトラブルの解決

プリンタのフロントパネルに用紙の取り付けエラーが続
けて表示される

ロール紙

- ロール紙が正しく取り付けられていません。用紙は手前側に巻くように取り付けます。
- 用紙が斜めに取り付けられています。用紙の右端が、エントリ ローラー上の白い線と平行になるようにしてください。

警告

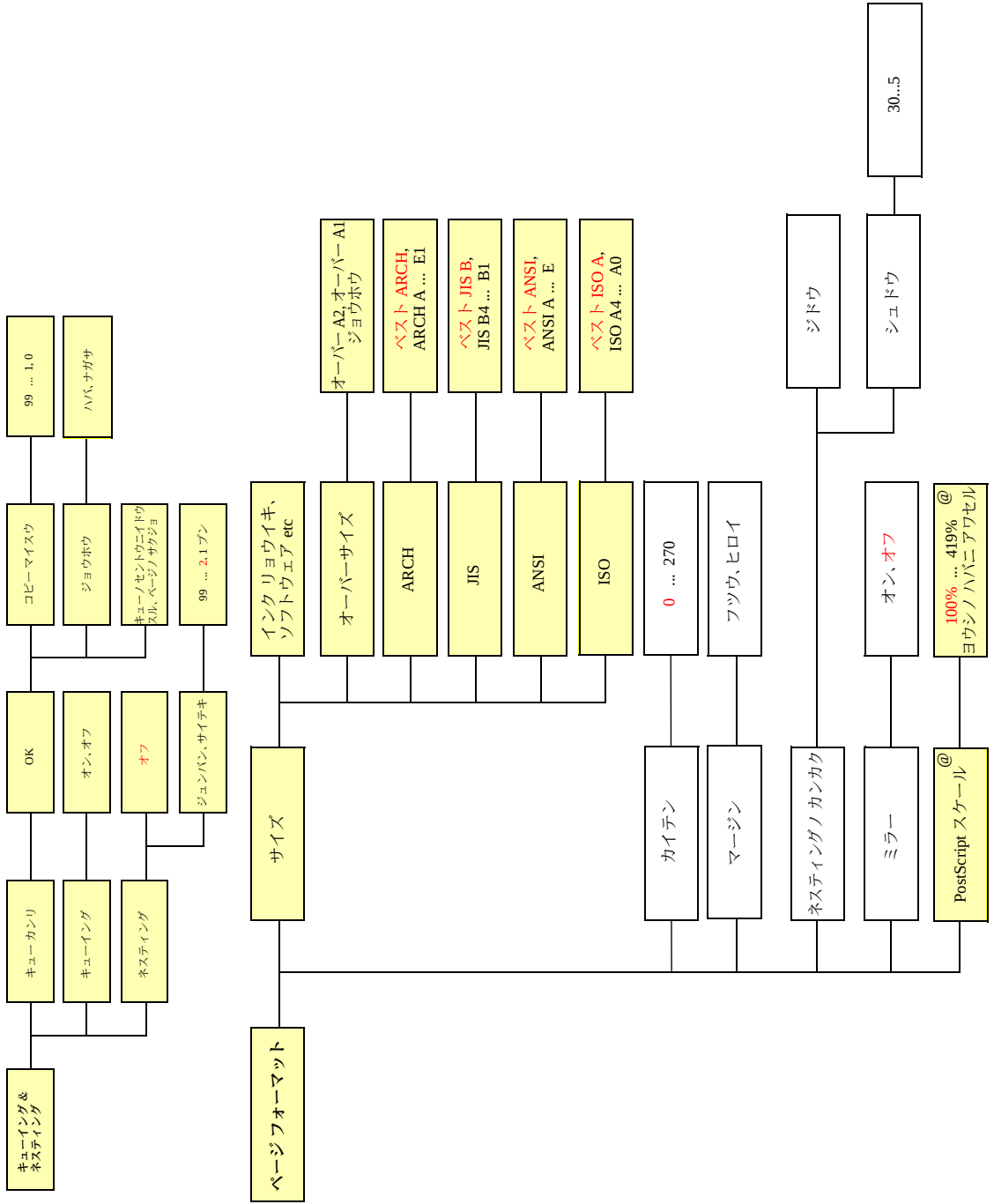
用紙がロールにしっかり巻かれていることを確認します。これを怠ると、用紙が斜めに取り付けられ、用紙が排出される原因となりますので、忘れずに確認してください。

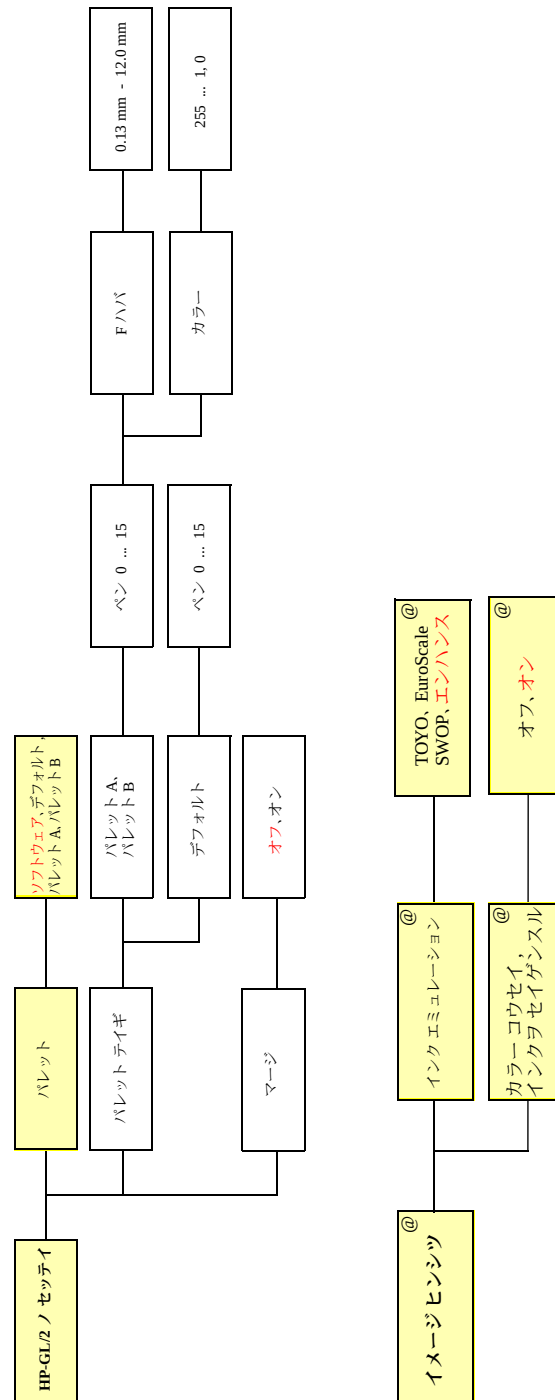
- 手動による軸合わせの手順 (『ユーザズ ガイド』を参照) を実行します。
- 用紙がスピンドル上に正しく取り付けられているかを点検します。

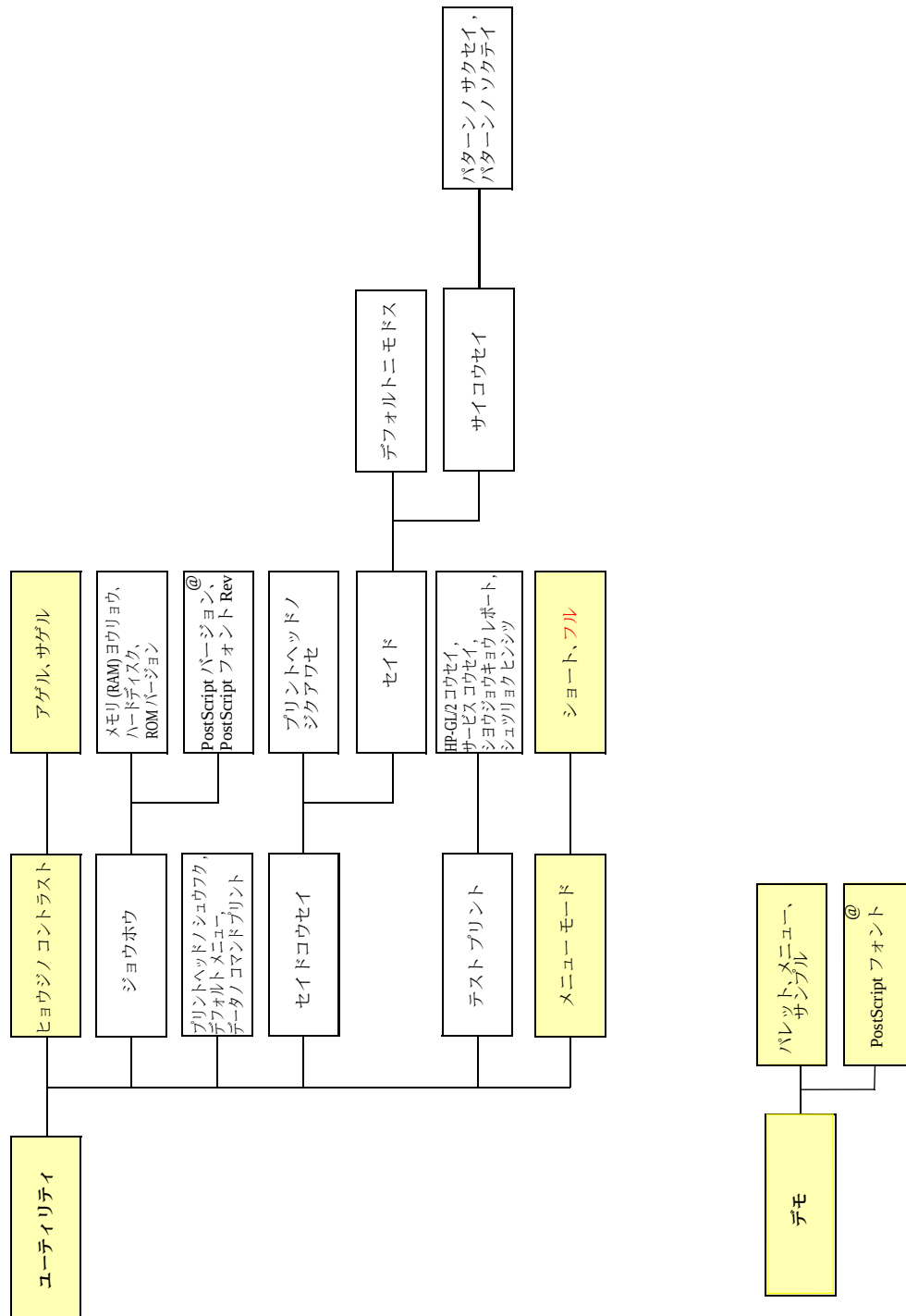
カット紙

- 用紙の右端をプリンタの青い点線に揃えて取り付けてください。
- 用紙にシワやゆがみがあるか、または用紙の先端がまっすぐにカットされていない可能性があります。
- 手で切った用紙は先端が斜めになっていたり、まっすぐでないことがあります。用紙は、ご自身で切ったものではなく、市販のものを使用してください。
- 取り付けようとしている用紙が非常にすべりやすい場合は、用紙を両手で持ち、中央部分が上に突き当たるまでゆっくりとプリンタに押し込みます。これによって、プリンタが用紙を取り付けやすくなります。
- オーバードライブに埃が付いていると、カット紙をセットするときに用紙を取り込むことができません。サービス ユーティリティのOverdrive Cleaning (オーバードライブのクリーニング) を使用して、オーバードライブをクリーニングしてください。⇒ 4-38 ページ

フロントパネル メニューの操作方法







サービス構成プリント

サービス構成プリントは、プリンタのトラブルを解決するのに便利なツールです。サービス構成プリントには、プリンタに関する次のような情報が含まれています。

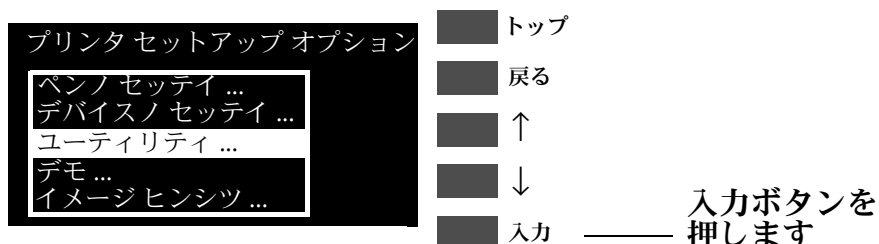
- 一般設定
- プリントヘッド情報
- カートリッジ情報
- 使用環境
- 校正
- 保守
- IIOの設定

サービス構成プリントの印刷方法

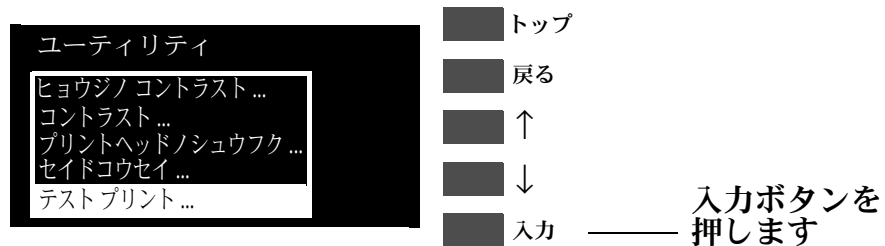
- 1 プリンタに用紙 (ロール紙またはA4以上のカット紙) を取り付けます。
- 2 フロントパネルに「プリント カノウデス」というメッセージが表示されたら、「プリンタ セットアップ オプション」のアイコンまでスクロールして「ニュウリョク」ボタンを押します。



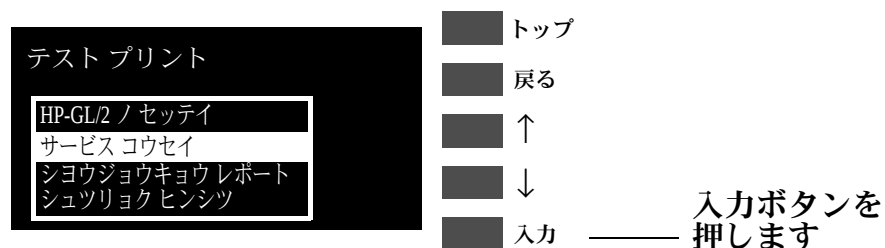
- 3 「プリンタ セットアップ オプション」メニューが表示されたら、矢印を使って「ユーティリティ」メニュー表示までスクロールし、「ニュウリョク」ボタンを押します。



- 4 「ユーティリティ」メニューが表示されたら、矢印キーを使って「テスト プリント」メニュー表示までスクロールし、「ニューリョク」ボタンを押します。



- 5 矢印キーを使って「サービス コウセイ」までスクロールし、「ニューリョク」ボタンを押すと、サービス構成プリントが印刷されます。



サービス構成プリントの使用方法

サービス構成プリントは、7つの領域に分かれています。それぞれプリンタのトラブルを解決するための次のような情報が表示されます。

- **一般設定** - この領域には、ファームウェアのバージョン、取り付けられているメモリの量、ハードディスクドライブの容量など、プリンタの一般的な設定に関する情報が表示されます。
- **プリントヘッド情報** - この領域には、部品番号、製造日、プリントヘッドがキャリッジに挿入された回数など、プリントヘッドに関するあらゆる情報が表示されます。プリントヘッドに関するトラブルの解決に役立つほか、このプリントヘッドが非HP製カートリッジで使用されているかどうかもわかります。
- **カートリッジ情報** - この領域には、部品番号、製造日、インク レベルなど、カートリッジに関するあらゆる情報が表示されます。また、カスタマが非HP製カートリッジを使用しているかどうかもわかります。
- **使用環境** - この領域には、プリンタを使用している環境の湿度と温度のレベルが表示されます。
- **校正** - この領域には、プリンタに対して実施された特定

の校正に関する情報が表示されます。また、必要な校正が実施されているかどうかもわかります。

- **保守** - この領域には、プリンタの電源をオンにした回数、キャリッジサイクル数、最後に発生したシステム エラーコードなど、保守に関する情報が表示されます。
- **IIOの設定** - この領域には、JetDirectカードの設定に関する情報が表示されます。

サービス構成プリントのサンプル

